

## 新たな温室効果ガス排出量削減目標設定に関するお知らせ

日本トムソン株式会社（代表取締役社長：宮地 茂樹）は、当社グループの新たな温室効果ガス排出量削減目標を設定しましたのでお知らせいたします。

表 新たな温室効果ガス排出量削減目標

範囲	期間	基準年度	目標年度	対象	目標値
連結	中期	2022	2030	Scope1, 2	42%以上の削減
				Scope3 CA1 ※	25%以上の削減
	長期	—	2050	Scope1, 2, 3	カーボンニュートラル

※CA1：カテゴリ1（購入した製品・サービス）

当社グループは、パリ協定にて求められる目標水準である「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃以下に抑える努力をする」に準拠した目標値への再設定を行いました。

中期目標では、温室効果ガス算定精度が向上した2022年度を基準年度とし、2030年度を目標年度としました。また、Scope1, 2の目標値は42%以上の削減、Scope3 CA1（カテゴリ1 購入した製品・サービス）の目標値は25%以上の削減と設定しました。

長期目標では、2050年度を目標として、Scope1, 2, 3の全てにおいてカーボンニュートラルを目指す目標設定としました。

従来の目標は、対象範囲を「単独」としており、2030年度に2018年度のScope1, 2基準排出量の50%以上削減、2050年度にScope1, 2を対象にカーボンニュートラルを目指す目標としておりました。

今回の新たな目標は、国内外の関係会社も含めた「連結」に対象範囲を広げたことに加え、Scope3に対する削減目標の設定を行いました。また、Scope1, 2の削減目標（2022年度を基準に2030年度で42%以上の削減）については、従来目標である当社単独範囲での基準年度（2018年度）からの削減量で換算しなおすと約50.7%となり、約0.7ポイントの上方修正となります。

当社グループは、様々な社会課題より特定したマテリアリティの1つである「豊かな地球環境の実現に向けた企業活動の推進」の達成に向け、今後サプライチェーンとの連携をさらに強化し、カーボンニュートラルの実現を目指した取り組みを推し進めてまいります。

以上